

どうもです、アル・ラ・ウネです。
今回は、以前「御坂姉妹本。(仮)」というタイトルで出した本を、
加筆修正して色塗って作り直したものです。
(仮)を取って「御坂姉妹本」という誌名でもよかったんですが、
せっかくなので、ちょっと変えてみました。
御坂やミサカがどのミサカなのかは、なんとなく伝わるんじゃない
かなと、ミサカはミサカは信じてみたり。

んまあ、いつも通りのえろえろ本です。
じっくりとお楽しみいただければ幸いです。

な 何やロシ…
大きくなりすぎ
じゃないの…?

どう見ても
動揺してないよな

じい……



と ミサカは呆れた
ような冷たい目で
ペニスを凝視します

あの… あんまり
見つめないで
いただけませんか？



ゼン

ていうか なんて
私たち ち〇ほ
見つめてんの…!?

どういう状況…!?

それは俺も
知りたい



ゼン





こんな節操のない
ペニスはおしおき
ですね

と ミサカは無造作に
手に取り 手首を
上下させます

ちよ

ちよっと！

そんなの触ったら
噛まれるわよ…！

俺の股間には
何が付いてるん
ですか!?

問題ありません
このペニスを触るのは
二度目
ですから

と ミサカはお姉様に
さり気なく優位性を
アピールします

へ…っ
どういっ
つよそれ…



と どういう
ことよそれ！

二回
言った

二回言いまし
たね ふふふ

と ミサカは不敵に
笑い 指摘します

ううんさいっ！



そんなわけでお姉様
お先に頂きます

と ミサカは念のため
断りを入れてから
フェアラに移行します

え
ちよっ



あっ あーっ！

は むっ

あ…



んむっ...

んっ

す...

す...

んっ

んぐっ

もうビクビク
痙攣してますね

とミサカは
ペニスの様子を
つぶさに観察します

もしかして もう
射精しそうですか？

とミサカは龜頭を
ねぶりながら

上目遣いで
問いかけます

いいですよ
射精しても

とミサカは
あなたの瞳から
視線をそらさず

激しくペニスを
責め立てます

うおおっ...

これはヤバイ
.....っ！



といつつミサカは
うっとうしく
鈴口から飛び出る
精液の様子を
見つめます

早くも
射精しやがり
ましたね

あ...



この硬さなら すぐに
続きをやれそうですね

と ミサカは両手で
ペニスの硬度を確認します

おおい
御坂妹...

続きって
何よ...!!



では早々に挿入
しましょう
と ミサカは

ナチュラルにペニスを
自分の股間へと誘います

露骨!
かなり露骨!



相変わらず素敵な
味と匂いですね

と ミサカは
ペニスに伝う精液を
丹念に舐めとります

そそう
なの...?

ネットリ...♡

ずいぶん

うううう

ミサカはとっくに濡れ濡れなので

いきなり動いても大丈夫です

とミサカは挿入の快感に耐えながら果敢に腰を動かします

おおいっ

そんなに動くと…っ!

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ちゅっ

ちゅっ

ホントに挿入れちゃってるの…!?

ちよことおく…

結合部をお姉さまに見つめられると興奮します

なんだかすこく

とミサカは自身の隠れた性癖に少し戸惑いつつも

さらに激しく腰を動かします

うおおっ すごいっ!

ちゅっ

ぬっ

ぬっ

卑猥な形の亀頭が
ミサカの膣を

いやらしい音を
たてながら

何度も
出たり入ったり
していますよ

と ミサカは腰の動きに
ひねりを加えながら
一層 激しく 膣口で
亀頭をこすりませ

いっいっ

いっいっ

な なんて
テクだ…っ

御坂妹の膣肉が
ち○ほに
絡みついてくる…!

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

しかも 御坂妹の
ちっばい……すげえ
やわらけえ…!

ちっばいとは
失礼です

肉体年齢相応の
ほどよい大きさ
ですよ

と ミサカはあなたを
たしなめながら

ひくつくペニスを
根本近くまで
挿入します

うおおっ
もうダメだ…!

で…
射精る…!

いっいっ
いっいっ
いっいっ

もみっ

もみっ

もみっ



抜け…っ

あっ♡

あはっ♡

あは♡

ぬらあ…っ



541310んっ…!!

ふああっ♡

だめええっ♡

そんな奥まで
挿入れちゃっ

310んっ♡



やあ…っ♡

つながってるよ

あ♡

あんまり
見ないで…っ♡

あはっ♡

見ないで
ってばあ…♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

ここれ
えろいな…!!



うっ ぐう……っ！

うあっ♡

…もしかして
また 射精
しています？

と ミサカは
お姉様に
尋ねてみます

せーっ

出てるっ♡

熱いのがっ

膣内で
出てるっ♡

…この回とは
思えない早さですね
逆にすこいです

と ミサカは
ある意味感心します

はっ



あ…
あれ…

はっ♡

まじっ
お姉様…っ

ちゅわん

ぽっ

はっ♡

コイツ まだまだ
元気みたいですが
どうしますか
お姉様？

と ミサカは
念のため確認を
とります

はっ

ぽっ

……

ぐっほっ

初めてのなのじっ

私 初めてなのじっ
なんで…っ♡

あんっ♡

なんでっ!? なんで
アンタのちのほっ

ぐっほっ

ぐっほっ

ぐっほっ

こんな気持ち
いいのぉっ♡

あんっ♡
あんっ♡

精液…
いっほい…♡

あふれちゃっ
てる…っ♡

ぐっほっ

あんっ♡

びくっ♡



ぬちゅん

ぬちゅん

太くて 硬くて
すじいんです♥

あなたの
おち〇ぽ
何度
射精しても

あ♥

はぁ♥

ん♥

はぁ♥

ぬちゅん

ぬちゅん

とミサカは
素直に 称賛
します♥

びくっ

びくっ

あ♥

さすがに もう
精液 入りきり
ません♥

とミサカは...

はぁ♥

あ♥

はぁ♥

はぁ♥

ぬちゅん

ぬちゅん

何度もイカされて
呼吸がっ♥

ん♥



お おほえて
なさいよ
アンタ…っ♡

私の処女を
奪った責任…っ

絶対 取って
もらっから…っ♡

じつとじつと
満足です…♡

と ミサカは遠のく
意識にまどろみながら

あなたの腕に
腕を絡ませます…♡

ああ… 俺も
もう限界だ…っ!

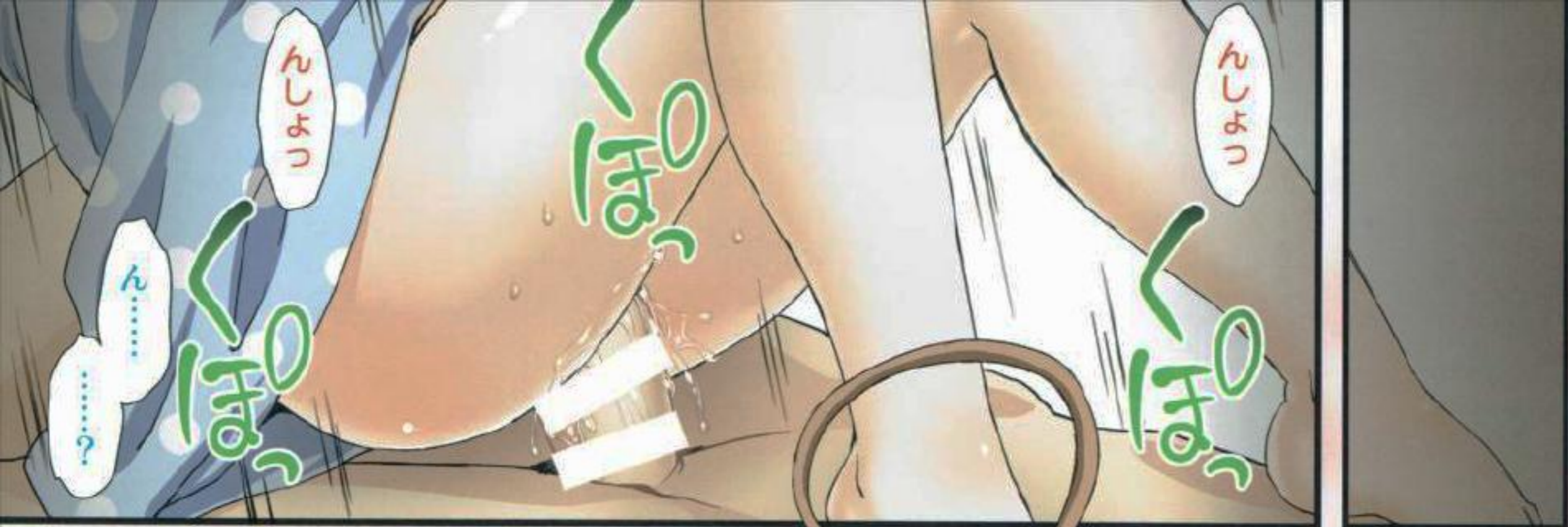


私も
もう…

無理…♡

…いつかまた
よろしくお願
い
しますね…

と ミサカは暗に
この関係の継続を
希望します…♡



んじょっ

んじょっ

くほっ

くほっ

ん...
ん...

くほっ

ぬほっ

そんないちわる
言わないでっ♡

ぬほっ

ぬほっ

って ミサカはミサカは
カリの部分を出し入れ
しながら抗議してみるっ!

こいっ
やめ...っ!

お前にはツレが
いるはずだろ...!?

...っ!
お前...っ!

あ 起きた♡

って ミサカはミサカは
あなたの覚醒を言ってみたり!♡

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

しゅごいっ♡

あなたの
おとなち〇ほっ

ミサカの際には
大きすぎるのっ♡

って ミサカはミサカは
ち〇ほを抜き挿しされながら
何度も何度もイカされて
みたり…っ♡……っ♡

んあ♡

ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ

んあ♡
んあ♡

ぐちゃっ

んあ♡

ち〇ほと
精液がっ
お子宮まで
きている…っ♡

って

ミサカはミサカはっ

気持ち
よあせし…っ♡

気を失いそうに
なってみたり…♡

ん♡

ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ

ビクッ♡

ビクッ♡

ん♡



このミサカに

あなたへの切ない
気持ち伝わって
くるの……♡

あのミサカから

すー
すー

んんん
んんん

……っ！

びんびん♡

そんな動かれたらっ

で出る……っ！

はあ♡

はあ♡

こて

ミサカはミサカはっ
この切ない
想いをっ

おおいっ
うう……っ

小さな体からだで精一杯に
表してみたりっ♡

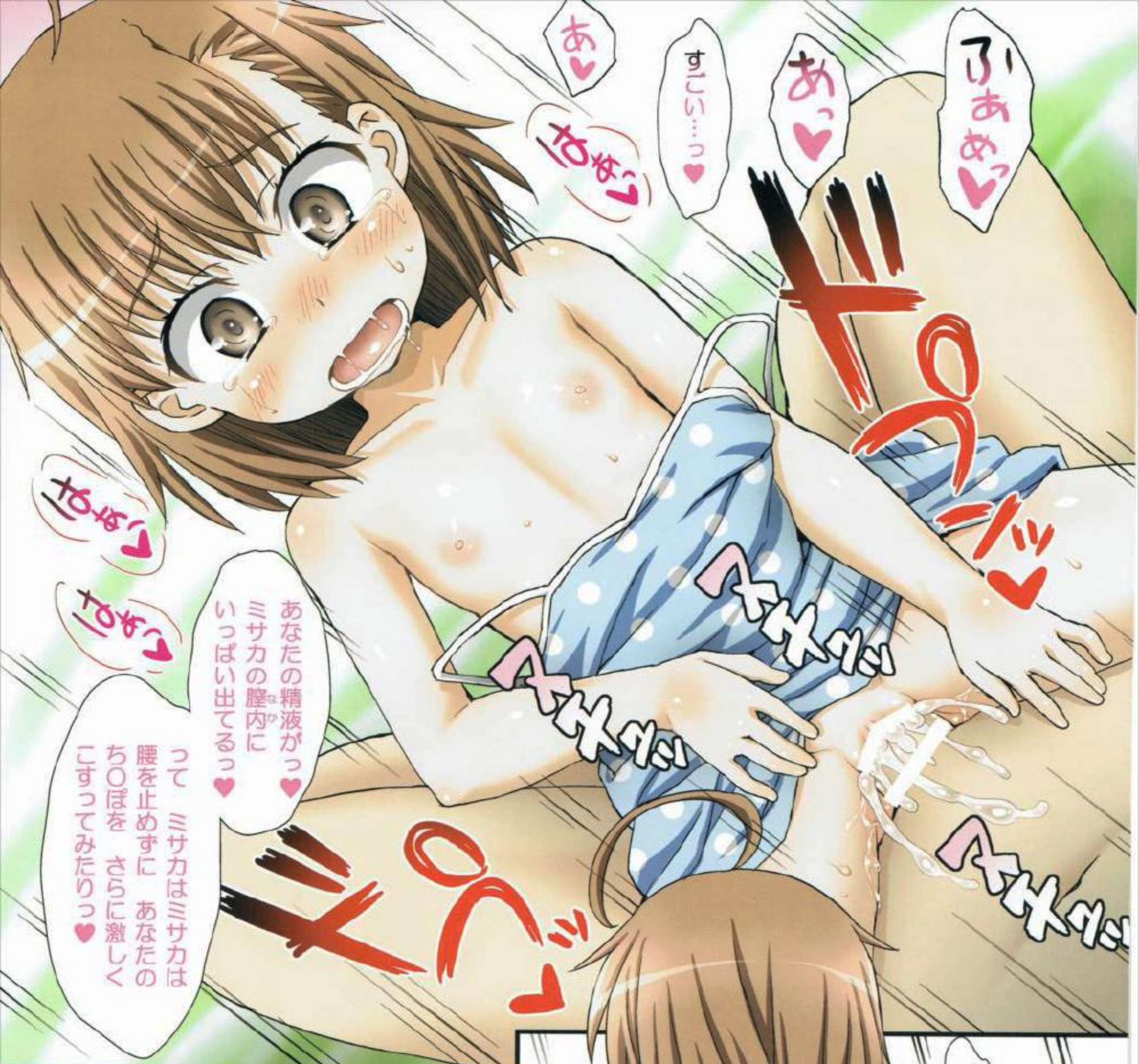
ちゅ♡
ちゅ♡

ちゅ♡
ちゅ♡

ちゅ♡
ちゅ♡

ちゅ♡
ちゅ♡

ちゅ♡
ちゅ♡



ふぁあ♡

あ♡

たじろ…♡

あ♡
たじろ♡

たじろ♡

たじろ♡

あなたの精液が♡
ミサカの膣内に
いっぱい出てる♡

って ミサカはミサカは
腰を止めずに あなたの
ち○ぽを さらに激しく
こすってみたり♡

たじろ♡

たじろ♡

たじろ♡



はあ♡

だめ♡ もっと♡

って
ミサカは
ミサカは

おち○ぽおねたり
してみろ…♡

はあ♡



う動かないで
くれ…っ!

これ以上は…っ
か 枯れる…っ!

たじろ♡

たじろ♡

たじろ♡



こゝろじら

人のち〇ほを
散々 もてあそ 弄んで
おいて...

気持ち良さそうに
寝やがって...!!

ぬと



不幸だ...

御坂とサカサカサカサカ。

発行日 2013. 12. 31
発行 者 ORANGE☆CHANNEL
著 者 アル・ラ・ウネ
印刷所 サングループ様

URL <http://orange.kinugoshi.net/>
mail une365@gmail.com

これがホントの打ち止めです。